

# 第21回 夢二俳句大賞

大賞には賞金20万円

## 第25回 夢二忌俳句大会

群馬県伊香保温泉にて開催〈全国大会〉

☆どなたでも応募できます

投句締切 7月31日(火)

●期日 平成30年9月1日(土) ●主催 夢二忌俳句大会実行委員会

大正ロマンの旗手、竹久夢二は美人画家として名を馳せましたが、その数奇な人生にスポットライトがあたり、のちに夢二の生きざまを題材にした映画が幾度となく制作されました。夢二を取り巻く女性たちとの華やかで幻想的な物語は夢二の魅力の一つとも言えます。そんな夢二が、知人との句会を通して俳句にのめり込んでいったことは、あまり知られていません。当時の日記の端に、句会に備えて自作を推敲した形跡があり、夢二が俳句に打ち込んでいた事実を垣間見ることが出来ます。美人画の余白にさりげなくしるされた一句も、夢二が通い詰めた句会から生まれたものかもしれません。

後年まとめられた「夢二句集」には千句を超える作品が収録されています。その、夢二の俳句を顕彰するために始められた「夢二忌俳句大会」も今回で25回目を数えます。この大会が四半世紀の間、続けて来られたのは、やはり夢二俳句の魅力によるところが大きいと思います。募集句「夢二俳句大賞」は21回目の公募となります。全国の皆様からの応募を心からお待ちしております。なお、恒例の「榛名湖畔吟行バスツアー」も例年通り開催いたします。松虫草の咲き乱れる花野と湖のほとりに立つ夢二歌碑へのご案内いたします。また前日には前夜句会のものち選者の先生方を交えての懇親会を行います。詳しくは裏面の募集要項をご覧ください。



黒船屋 (竹久夢二伊香保記念館蔵)

庭石にぬれてちる灯や星まつり

夢二

大会実行委員長 木暮陶句郎



# 第21回 夢二俳句大賞

(賞金20万円)

●選者 (敬称略・五十音順)

- 稲畑廣太郎 (ホトトギス 主宰)
- 上田日差子 (ランブル 主宰)
- 木暮陶句郎 (ひろそ火 主宰・大会実行委員長)
- 高野ムツオ (小熊座 主宰)
- 西村 和子 (知音 代表)

●投句締切 平成30年7月31日(火) 消印有効

●投句要領 未発表の近作2句1組(何組でも可)

左記の投句用紙(コピー可)

または、縦置縦書で作品の前に

住所・氏名・年齢・電話番号を明記。

●投句料 2句1組につき2,000円

定額小為替か現金書留で、作品と同封。

または郵便振替・銀行振込で払込。

●発表

8月20日前後、秀逸以上の入賞者に直接通知。又、入選句集を投句者全員に送付(9月末日頃)

●表彰

第25回夢二忌俳句大会の席上。

●賞 夢二俳句大賞1名 賞金20万円および賞状

特選には賞品および賞状

朝日新聞社賞・伊香保温泉観光協会会長賞

NHK賞ほか、秀作賞多数

●後援

群馬県・渋川市・日本伝統俳句協会  
俳人協会・現代俳句協会ほか(予定)

# 第25回 夢二忌俳句大会

●日時 平成30年9月1日(土)

午前9時受付開始・正午投句締切

※昼食は各自おとりください。

午後1時より句会開始(囑目3句)

〔4時終了予定(表彰含む)〕

●句会費 3,000円

●会場 群馬県伊香保 ホテル天坊

●電話 0279(72)3880

●吟行 バスツアー 3,000円

「ホテル天坊」前を9時出発。

榛名湖周辺を吟行。11時30分会場へ。

●選者 (敬称略・五十音順)

小倉 一郎 (俳優・俳号 蒼蛙)

木暮陶句郎 (ひろそ火 主宰・大会実行委員長)

小林 敏朗 (葛 選者)

高野ムツオ (小熊座 主宰)

中里 麦外 (言霊 主宰)

西村 和子 (知音 代表)

●賞

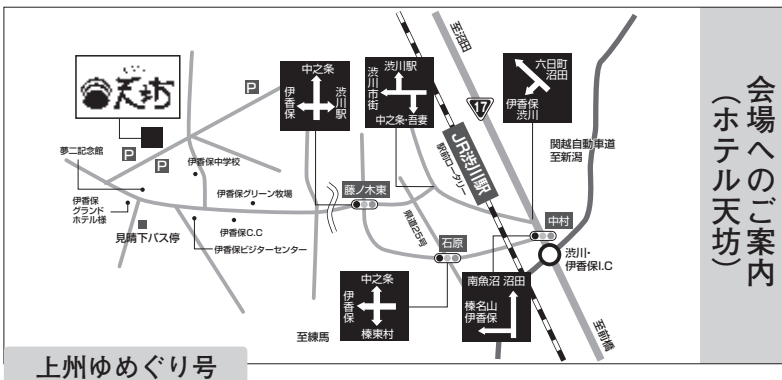
夢二記念館館長賞・読売新聞社賞・上毛新聞社賞ほか多数・参加賞あり

●前夜句会

●宿泊

31日午後4時締切(詳細は当日受付にて)  
前日の8月31日(金)に宿泊ご希望の方は左記の申込用紙にご記入ください。  
ホテル天坊 1泊2食付13,000円 (懇親会費含む)

※新宿駅新南口(バスタ新宿)より伊香保温泉まで便利なJRバス「上州ゆめぐり号」が運行しています。お求めは全国JR各駅の「JRバス関東」または「高速バスネット」にて。



## ★投句先・大会参加申込先・お問合せ

〒377-0102 群馬県渋川市伊香保町伊香保397-1  
夢二忌俳句大会実行委員会 0279(20)3555  
郵便振替口座00180-0-173005 夢二忌俳句大会  
銀行からは ゆうちよ銀行〇一九(ゼロイチキョウ)店  
当座0173005 ユメジキハイクタイカイ

キリトリ線

〒377-0102 群馬県渋川市伊香保町伊香保397-1

夢二忌俳句大会実行委員会 御中

投句中

(行) 新宿 ⇒ 伊香保温泉	(帰) 伊香保温泉 ⇒ 新宿
8:05 → 10:39	12:05 → 14:39
9:05 → 11:39	14:05 → 16:39
10:05 → 12:39	16:05 → 18:39
11:05 → 13:39	16:32 → 19:07
	17:32 → 20:07
	19:02 → 21:37

→こちらを宛名にご使用  
頂くと便利です。

### ◎投句留意点

- ・楷書でお書き下さい。
- ・むずかしい漢字にはカナを振って下さい。
- ・盗作、類似作品、二重投稿は入選を取り消します。
- ・投稿後の作品の変更には応じられません。
- ・電話等による審査経過の問い合わせには応じられません。
- ・投句料の受領証の発行はいたしませんので、各自お手元に控えをお持ちください。
- ・投句者のデータは、個人情報保護法に基づき管理致します。

### ◎参加申込先・作品投句先

〒377-0102

群馬県渋川市伊香保町伊香保397の1

夢二忌俳句大会実行委員会

【☎0279(20)3555】

### ◆歴代夢二俳句大賞◆

- |      |                    |           |
|------|--------------------|-----------|
| 第一回  | 合歓の花閉ぢて夜風の濃くなりし    | 愛知 山田 七十  |
| 第二回  | 子供達寝つきて金魚落ち着きぬ     | 香川 小西としじ  |
| 第三回  | 露けさにただ触れてきしだけの径    | 茨城 今橋眞理子  |
| 第四回  | 轆轤場に詩集一冊天の川        | 福岡 安元しづか  |
| 第五回  | ゆつくりと海立ち上がる厄日かな    | 静岡 湖東 紀子  |
| 第六回  | 草笛や夢二さびしむ青山河       | 群馬 山木 初音  |
| 第七回  | 半襟は夢二の朱色秋なかば       | 三重 田中 翠   |
| 第八回  | 花野忌や裏方として十二年       | 群馬 石原 魚秋  |
| 第九回  | 夕焼の孀恋村を歩きけり        | 兵庫 高田 菲路  |
| 第十回  | 湖も花野も夢二偲ぶもの        | 群馬 小林 敏朗  |
| 第十一回 | 遠くより日の翳りくる花野かな     | 北海道 伊藤 玉枝 |
| 第十二回 | のうぜんかづらわれもただよふものうち | 静岡 篝 ゆう子  |
| 第十三回 | 鐘撞いて観音詣で夢二の忌       | 東京 安西 春栄  |
| 第十四回 | かそけき音立て花野忌のガラス盃    | 東京 天野 小石  |
| 第十五回 | 括られて露まとふもの夢二の忌     | 東京 長嶺 千晶  |
| 第十六回 | びいどろの底より昏れて夢二の忌    | 東京 松野 秀雄  |
| 第十七回 | 夢二忌の速夜の窯場あかりかな     | 群馬 茂木 妃流  |
| 第十八回 | 夢の世へ少し傾き月見草        | 群馬 星野 裕子  |
| 第十九回 | 山静か湖なほしづか夢二の忌      | 群馬 星野 裕子  |
| 第二十回 | 山湖また霧に閉ざされ夢二の忌     | 東京 橋本世紀男  |